

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【公表番号】特表2019-523752(P2019-523752A)

【公表日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-558765(P2018-558765)

【国際特許分類】

C 07 C 43/17 (2006.01)

C 09 K 5/04 (2006.01)

【F I】

C 07 C 43/17 C S P

C 09 K 5/04 F

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月30日(2020.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

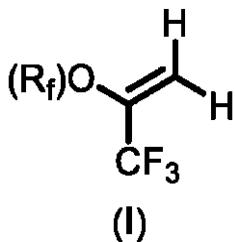
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の一般式(I)：

【化1】



(式中、R<sub>f</sub>は、2~10個の炭素原子を含有し、任意選択により(i)○若しくはNから選択される少なくとも1個の鎖状に連結したヘテロ原子、又は(ii)○若しくはNから選択される1個以上の鎖状に連結したヘテロ原子を任意選択により含有する3~6個の環炭素原子を有する環構造、を含有する直鎖又は分岐鎖の過フッ素化アルキル基である)

で表される、ハイドロフルオロオレフィン化合物。

【請求項2】

R<sub>f</sub>が3~10個の炭素原子を含む、請求項1に記載のハイドロフルオロオレフィン化合物。

【請求項3】

請求項1に記載のハイドロフルオロオレフィン化合物を含む作動流体であって、前記ハイドロフルオロオレフィン化合物が、前記作動流体中に、前記作動流体の総重量に基づいて少なくとも25重量%の量で存在する、作動流体。

【請求項4】

デバイスと、

前記デバイスへ又は前記デバイスから熱を伝達するための機構であって、請求項1に記載のハイドロフルオロオレフィン化合物又は作動流体を含む熱伝達流体を含む、機構と、

を備えた熱を伝達するための装置。